

クビアカツヤカミキリ撲滅プロジェクトの取組みについて （クラウドファンディング活用事業）

1 背景・目的

バラ科の樹木であるモモ・サクラ等に被害を及ぼす外来害虫「クビアカツヤカミキリ」が、平成27年に板野町のモモ園で確認されて以降、当該害虫の捕獲や発生状況調査を行ってきたところであるが、近年、枯死樹が急速に増加するなど、農業被害の拡大が危惧されるところである。

また、「クビアカツヤカミキリ」は、サクラなどの街路樹を介して、本県はもとより全国的に分布拡大が懸念されるため、早急に効果的な防除技術を確立する必要があることから、プロジェクトを立ち上げる。



クビアカツヤカミキリ成虫

2 プロジェクトの内容

（1）今年度の取組み

- ① 農大・徳大生等による捕獲チームを編成し、農林水産総合技術支援センターとともに当該害虫を捕獲
- ② 民間企業と連携した成虫を誘引するフェロモンの合成
- ③ 既存の化学・生物農薬から当該害虫に有効な薬剤選抜試験の実施 など

（2）今後の展開

平成30年度までの2力年で、全国に先駆け、総合的な防除技術を確立し、本県での蔓延防止対策の実施はもとより、情報発信を行い、「クビアカツヤカミキリ」の早期撲滅を図るとともに、モモの安定生産、産地維持やサクラ並木などの景観の保全に貢献する。

3 新たな歳入の確保

当該プロジェクトの活動経費確保の「新たな手法」として、徳島大学が運営する「OTSUCLE（おつくる）」を活用し、本年5月より「クラウドファンディング」を実施した結果、県民の皆様を中心に、多くの方々から趣旨に賛同いただき、550万円を超える寄付が寄せられた。

※参考

（ クラウドファンディングとは、インターネットを通じて、事業に共感した
不特定多数の人々や組織から広く資金を集める方法のこと ）